

第6回松本市子どもにやさしいまちづくり委員会（グループワーク）報告書（テーマ別）

1 子どもの権利の普及と学習への支援

	各テーマに関する市の取組みをどれくらい知っているか	その取組みについて、どのように感じているか	新たな取組みの提案
A グループ	① 知っていることもあったが知らないことも多かった。 ② 未来委員会の活動を通してだんだん知るようになってきた。 ③ 周りの子は知らないと思う。	① ルールがあることを知って驚いた。ルールを守っていきたい。	① こころの鈴のカードのような子どもが手元に持っていられるものが増えればいいと思う。 ② お便りよりも伝えられる工夫が必要。 ③ SNS や LINE の相談のようなものは若い人の目にとまると思う。 ④ 下敷きは表裏が使える。相談窓口の連絡先がついていて良い。 ⑤ ポスターを張るだけでなく校長先生が紹介してくれると良い。 ⑥ 学習パンフレットは見たことはあっても心に残らない。授業で使う回数を増やす。小学校では先生が読んでくれるが、中学校ではそこまでは難しい。 ⑦ 漫画にすると良い。キャラクターをつくる。
B グループ	① チラシや校内放送をしていることは知っている。 ② 条例があることは知っている。	① 文章が長くて、チラシを読んだり、放送を聞いたりする気にならない。 ② お昼の放送は、食事中なので内容に集中できない。 ③ 文章が長いので、翌日には忘れてしまう。	① 思い切って、年に1回くらいは、長い文章ではなく、「子どもの権利」「こころの鈴」など、知ってほしいフレーズだけを大きく書いたチラシを配っても良いと思う。 ② 一方的に話されるだけではつまらない。子ども同士で話し合う時間があれば興味を持てる。
C グループ	① 子どもの権利条例や「こころの鈴」については、学校でチラシやカードが配布されているため知っている。	① そもそも、地域の大人や学校の先生などが、子どもの権利条例や「こころの鈴」、子ども未来委員会のことを知らないのではないか。	☆ みんなに知ってもらうためには、どんなことをやった良いか？ (1) 「こころの鈴」に関して ① 「こころの鈴」のPR紙を入れたティッシュを、こども（子ども未来委員会）が駅前で配る。 ② 学校の校外活動として「こころの鈴」に行ってみる。又は、職場体験してみる。 ③ 学校の先生が「こころの鈴」の紙を配る時に、ただ配るのではなく、何か説明等を言って配る。 ④ 「こころの鈴」のフリーダイヤルを、松本に関係したものにしたらどうか。 ※ 例えば0120-803-415（やまが ファイト）（松本山雅J1に出場記念） (2) こどもの権利に関して ① 地域のプロスポーツチーム（松本山雅）の力を借りてPRする。 ② 人が多く集まるイオンモールで、子どもの権利に関するスタンプラリーを行う。 ③ イオンモールでアルプちゃんを使ったキーワード探しを行う。 ④ 子ども未来委員会で意見文を作り、それを通して学校やいろいろな所にPRする。 ⑤ いろいろな新聞に掲載してもらう。 (6) 学校の社会の教科書に入れる。
D グループ			

2 子どもの相談・救済の充実

	各テーマに関する市の取組みをどれくらい知っているか	その取組みについて、どのように感じているか	新たな取組みの提案
A グループ	① ポスターなどたくさん見るので、権利よりは知っている人が多い。 ② こころの鈴の隣のフリースペースを勉強で使ったとがあるので知っている。	① いじめられていても親には言わない。言いやすい環境を親が作る。そして学校に伝えると良い。自分から言えた方がすっきりする。話しやすいのは学校の友達なので、こころの鈴の事を学校から聞けたら良い。 ② はぐルッポには友達が行っていた。はぐルッポのような場所を増やしたり、身近にあると相談しやすい。	① カードは捨ててしまうので、消しゴムやクリアファイル、シャープペン、マグネットなど作ったら良い。 ② 学校の連絡袋にシールを貼ったらよい。
B グループ	① 「こころの鈴」があることは知っている。 ② 「こころの鈴」のカードを見たことがある。持っている。	① 小学校低学年の子や幼稚園・保育園の子など、自分の電話を持っていない子は、どうやって相談しているのか不思議。親が子どもの代わりに相談してくれているのだろうか。 ② いやがらせなど、子ども同士の問題を大人に相談するのは、大人に言いつけるような感じがして、子どもの間ではタブーに思われている。自分から相談しようという気にはならない。 ③ 誰にも相談したくないこともある。	① 電話や面談で話すのではなく、手紙で相談したい。自分で文章を書いてみると、相談したいことが整理できると思う。 ② 知らない人に相談するのは勇気が要るので、身近な人（友達の親など）に、子どもの相談を受け付けるボランティアになってもらうのはどうか。
C グループ			☆ 相談しやすい所や相談しやすい方法は？ (1) 相談しやすい環境について ① やさしそうな人に相談したい。 ② 慣れていない人や同じ年の人のほうが、相談するときに気が楽である。 ③ 若い人よりお年寄りの人の方がいい。 ④ 髪の毛が黒か茶色がいい。 ⑤ いきなり本題ではなくて、少し雑談から始めてくれると話しやすい。 ⑥ 親に聞かれたくないかもしれないので、手紙を書いて出す。（他の人に知られたくない） (2) 救済について ① 職員（先生）たちで、学校でのいじめや子どもたちの状況（家庭での状況等）について話し合ってもらい、事前に助けてあげる。（関係機関に繋げる）
D グループ			

3 子どもの意見表明・参加の促進

	各テーマに関する市の取組みをどれくらい知っているか	その取組みについて、どのように感じているか	新たな取組みの提案
A グループ	① 自分の活動は担任の先生や学年の先生は知ってくれていて声をかけてくれたりするが、周りの友達みんなは知らない。自分からは言わない。 ② 言う人は言うが言わない人は言わない。	① 学校の先生がまとめて大人に伝えたらよい。 ② 大人とは現実的なことだけで終わってしまう。未来委員会に入っていないなくても気楽に言えると良いと思う。 ③ 自分たちでどうにかできる事ではない、解決できない、大人が関わるのは無理と思っている人が多い。	① ポスターに未来委員会の一人一人の顔を入れてもらえば皆に声をかけてもらえると思う。 ② 自ら発信できる未来委員会のようなものを広げていけたら良い。 ③ 未来委員会の活動を知ってもらうことが大切。学校で未来委員会や権利のことをやってほしい。
B グループ	① 未来委員会はこの権利のために活動していると知っている。	① 未来委員会で市長提言をしているが、本当に市の施策に反映してくれるのかは疑問に思っている。児童会も生徒会も、今日の委員会でも同じで、「どうせ言っても仕方ない」という思いがある。確かに、子どもの意見の中には不可能なこともあると思う。それならそれで構わないので、理由を説明してくれたら納得できる。 ② 中学校には自分の入りたい部活がないので、入りたい部活を自分で立ち上げようと思っている。これも意見表明の一つだと思う。 ③ 未来委員会のように、みんなで話し合いができるので楽しい。	① 未来委員会に参加する子が少ないのは、募集のチラシが目立たないせいだと思う。ビデオなど動画を活用してはどうか。
C グループ			☆ 意見表明についてどんなことをやってみたいか？ ① 松本市長には意見表明の機会があり、意見等を聞いてもらっているので、今度は、県知事へ意見表明等を行いたい。 ② 各テーブルにお菓子などをおいて、一般市民（地域の大人）と一緒にいろいろなことを話す。 ③ Eテレの「いじめをノックアウト」で、「こころの鈴」でやっていることや相談している子どもの意見等を放送する。 ④ いろんなイベントに子ども未来委員会が参加する。
D グループ			

4 子どもの居場所づくりの促進

	各テーマに関する市の取組みをどれくらい知っているか	その取組みについて、どのように感じているか	新たな取組みの提案
A グループ	① はぐルッポは聞いたことがない。 ② 友達が行っていた。	① 家で勉強しにくいときもあるので、フリースペース（勉強ができる場所）があると良い。 ② いつも行っているところは行きやすい。図書館、公民館、公園 ③ リラックスできる場所が欲しい。 ④ 公園は遊具が少なく独占されたり、上級生がいたり、サッカーや野球のクラブチームが使っていると使いにくい。 ⑤ 家から近いと行ける。友達も一緒に行ける。 ⑥ 児童センターは行事で行くことが多い。 ⑦ 土日使えなかったり、遊具が壊れている、中学生が占有しているなど使いにくい。	① 土日、いつでも自由に使える場所が欲しい。 ② こころの鈴をもっと作る。 ③ 公園はスポーツ専有部分、遊び別の区分、広さがあるといい。低学年と高学年が分かれて使えると良い。
B グループ	① 児童館、児童センター、公園などは知っている（「子どもの居場所」として特別に考えたことはない）。	① 体育館や公園など、外で体を動かすことやスポーツが好きな子にはたくさん居場所があるが、自分はそれが好きではない。パソコンができる場所、生き物と触れ合う場所などはないので残念。 ② 児童館、児童センターは知り合いがいなくてさみしかった。 ③ 児童館、児童センターは、友達と活発に遊ぶ子には良いところだが、自分のペースでやりたい子には合わない。 ④ 図書館は、スペースとしては安心できる居場所だと思うが、友達と交流する場所ではないので、仲間を作ることはできない。	① 図書館は落ち着く場所だが、市内に数箇所しかない。公民館のように、色々な場所にあるともっと行きやすい。 ② パソコンが置いてある場所、生き物がいる場所がほしい。
C グループ			☆ どんな居場所が欲しいか、行ってみたいと思うか？ (1) 居場所の環境等について ①W i - F i が使える所 ②ゲーム機、スマホを貸し出してくれる所 ③窓がたくさんある所 ④明るい所 ⑤シンプルな場所 ⑥静かな場所 ⑦ザワザワしている所 ⑧エアコンが完備されている所 ⑨防音機能がすごい所 ⑩酔っ払いがいない所 ⑪こわい人がいない所 ⑫友達（友人）がいっぱいいる所 ⑬知り合いが一人でもいいからいる所 ⑭許可がなくても使えるグラウンドがある所 ⑮長期休みじゃなくても勉強スペースがある図書館みたいな所 ⑯無料なカフェみたいな所。 (2) 居場所のあり方について ①子どもの意見をしっかり取り入れてくれる所 ②みんなが分かちあえる所 ③優しい人たち（大人）がいる居場所。（見た目が怖そうでもやさしさがあればOK） ④誰とでも相談できて、納得するまで相談できるところ。
D グループ	① 児童館・児童センターの運営 ② 公園の管理運営 ③ 図書館の管理運営	① 児童センターは、イベントや勉強を教えてもらえる環境があり、他の学年の児童とも遊べる楽しいところである。（逆に、他の学年と一緒にであるがために、トラブルになることが多いとの意見あり） ② 児童センターの職員に悩みを聞いてもらえる。 ③ 児童センターは、登録児童数が多く、学習、遊び共に空いているスペースが少ないため、一般利用者は使いにくい施設である。（これにより、職員に悩みを聞いてもらいたくて行っても、職員が忙しくしているため、あきらめて帰ることが多い。） ④ 遊具がたくさんあり、自然もあり、たくさん人が利用している公園は良い。 ⑤ 公園の周りには、建物(民家)があつたり、道路があるので、思い切りサッカーをしたくてもできない。 ⑥ 遊具のない公園がある。 ⑦ トイレがない公園がある。 ⑧ 公園のトイレは暗く、使う時に怖い。 ⑨ 図書館は、落ち着ける場所なので、よく利用している。 ⑩ 子どもの居場所となる施設等に対しては、不満に思うことや、こうしてもらいたいと思うことはたくさんあるが、子どもの意見を聞いてもらえる場もなく、大人が聞いてくれると感じることもない。	① 児童センターで、外遊びをする機会をもっと増やしてもらいたい。 ② 児童センターに置いてある本は古いので、定期的に新しい本が入ると良い。 ③ 児童センターを誰でも利用しやすい（一般利用）環境にしてもらいたい。（人が多いのでスペースを広げる等） ④ ドッジボールやサッカーが思い切りできる公園を作ってもらいたい。 ⑤ 公園にきれいで明るいトイレを設置してもらいたい。 ⑥ 恥ずかしかったりで、言えない子どもが多いと思うが、子どもの意見を聞いてもらえる場があると嬉しい。 ⑦ 現在、行政が子どもの意見を聞く体制ができていないので、子どもの意見を聞くような体制づくりが必要である。

